

追加接種（3回目接種）に使用するワクチンについて

3回目の接種をした人の方が、接種をしていない人よりも、新型コロナウイルスに感染する人や重症化する人が少ないと報告されています。1・2回目に接種したワクチンの種類に関わらず、追加接種にはファイザー社ワクチンまたは武田 / モデルナ社ワクチンが接種できます。

■市内の追加接種で使用するワクチンの種類

追加接種では「ファイザー社ワクチン」と「武田 / モデルナ社ワクチン」を使用します。
※国から、3回目に必要なワクチン量の分配はありますが、その配分比率はファイザー社ワクチンと武田 / モデルナ社ワクチンが半々程度の予定です。

■交差接種の安全性と効果

3回目接種では、1・2回目接種とは異なる種類のワクチンを接種できます（交差接種）。交差接種をした場合の効果や安全性を評価した英国の研究では、抗体価の上昇は良好であることが報告されています。

また、副反応に関しては、どちらのワクチンにおいても、初回接種で報告されたものと概ね同様の症状が見られました。

発現割合	ファイザー社（接種後の症状）	武田 / モデルナ社（接種後の症状）
50% 以上	疼痛、疲労	疼痛、疲労、頭痛
10～50%	頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛	筋肉痛、関節痛、悪寒、リンパ節症
1～10%	38度以上の発熱、腫脹、発赤、リンパ節症（※）	38度以上の発熱、腫脹・硬結、紅斑・発赤

（注）対象 / 人数：ファイザー 2回目 16～55歳 / 2,682人、ファイザー 3回目 18～55歳 / 289人、モデルナ 2回目 18歳以上 / 14,691人、モデルナ 3回目 18歳以上 / 167人

（注）2回目接種と比べた3回目接種での発現割合：■ 5ポイント以上少ないもの、□ 5ポイント以上多いもの。

（注）武田 / モデルナ社のワクチンは、1・2回目は 100μg、3回目は 50μg を接種している。

（※）ファイザー社のワクチンのリンパ節症は、接種後 1 か月以内のデータを記載。 出典：特例承認に係る報告書より

新型コロナワクチン専門相談ダイヤル

県では、薬剤師が「ワクチンの副反応に関するご相談」「副反応発生時の受診に関するアドバイス」「ワクチンの有効性・安全性に関する情報提供」等の相談に対応するワクチン接種の副反応や安全性等に関する相談窓口を開設しています。

■ワクチン接種専門相談センター【受付時間：24時間対応】

☎ 083-902-2277 FAX 083-902-2212

住民票所在地（住所地）以外での接種を希望する場合

以下のようなやむをえない事情がある場合は、住所地以外で接種を受けることができます。

■接種を受ける市町村へ届出申請を行うことで接種ができる人

①出産のために里帰りしている妊産婦 ②遠隔地に下宿している学生 ③単身赴任者 ④ドメスティック・バイオレンス、ストーカー行為等、児童虐待およびこれらに準ずる行為の被害者等

●申請方法：接種券が届いたら、接種を受ける市区町村に「住所地外接種届」の提出が必要です。

※住所地外接種届は、市ホームページ、健康増進課窓口で入手することができます。

※コロナワクチンナビ（厚生労働省 / <https://v-sys.mhlw.go.jp>）で作成することも可能です。健康増進課窓口または高齢福祉課窓口でもお渡しできます。



【ワクチンナビ】